

# テクノゾーンレター

## 1.事務局からお便り



新横浜テクノゾーン協同組合 事務局をお預かりしております。ありがとうございます。

日頃から組合員の皆様また町内会の方々には組合活動へのご理解・ご協力を賜りまことにありがとうございます。

先月号に春秋商事さんの排出方法を掲載したところ知りたい情報であったとの何件かの反響を頂きました。当レターを作成している身には多少なりとも有意義な情報がお送りできたことをとても嬉しく思いました。

さて今月のお知らせですが、まず春秋商事様の回収場所を3月より一か所増やします。

場所は(株)ティーエム・スパイラル前で水曜日<sup>のみ</sup>の回収です。五味渕鋼鉄(株)さん・(株)テクノス三和さんなどにお使いいただければと思います。水曜日は可燃物・不燃物ともに出せますので、分別はきっちり行いご利用ください。

次に組合主催の清掃ですが、2月は悪天候のため挨拶のみで清掃は中止いたしました。その分3月にはきちんと行いたいと考えております。3月は**13日**に行いますのでご協力お願いします。清掃場所は第5駐車場です。



## 2.総務委員会から

2012年2月21日火曜日総務委員会を実施。事務局より1月の収支及び活動報告を受け、特に問題はありませんでした。又、現金有り高についても現物確認を行い、帳簿との突合の結果問題点は見当たりませんでした。

## 3.駐車場委員会から

お陰様で2月末においてほぼ満車状態にありますが、3月末において短期でお貸ししている方の契約が切れますので、多少空きが出ます。4月からご利用をお考えの方は事務局までお申し込みください。

駐車場は綺麗に

## 4.大震災を乗り越えて 「絆」

平成23年度中小企業団体交流大会が横浜にて行われ、当組合から栗屋野理事長・村山理事・笠原理事・曾我理事及び事務局長が参加して参りました。



主催者を代表して神奈川県中小企業団体中央会森会長より挨拶の後、黒岩祐治神奈川県知事より、「マグネット力を語る」と題して講演があり、まず災害によるがれき受け入れ問題から話が始まりました。

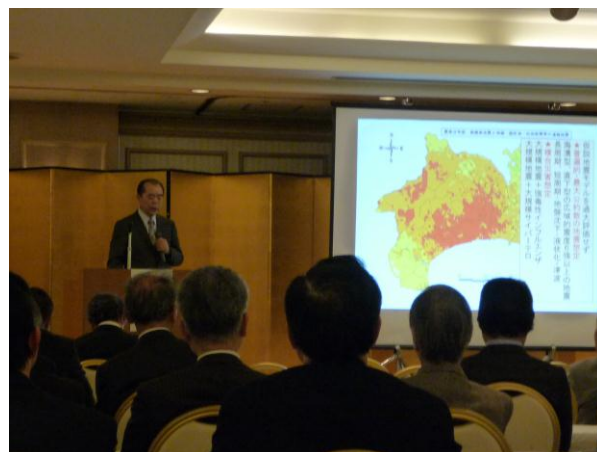
東京都はいち早くがれき受け入れを表明し実行に移した。しかし都の最終処分場は海にある。神奈川は芦名地区。人が住んでいる。大反対を県民から受けている。だが県としてこの災害のがれき受け入れは何としても行いたい。放射能の危険性については充分承知しており、安全であると確信して受け入れを進めていきたいと強調されました。この神奈川県の動きは全国から注視されております。受け入れ表明している地区は多いものの実行に移せないでいる現状。何を基準に安全というか。早期に何かしらの規範が示されるべきだと思います。

次に題目にある「マグネット力」。県知事の仕事は県経済の活性化にある。県・地域・企業・職場、何かしら魅力のある、ひきつける何かがある力が必要である。このひきつける力こそが「マグネット力」である。この力で、働きたくなる、住みたくなる、そう思わせる魅力を前面に出して活性化していこうと考えている。本来国でやるもの、例えばエネルギーや医療関係。これを県でやろうじゃないかと旗を振る。太陽光を用いたエネルギー革命を神奈川から起こせないか。魅力ある働きたくなる病院を神奈川に作れないか。また、観光地としても名高い神奈川県だが、横浜・鎌倉・箱根に次ぐ第4の核となる観光地が欲しい。だが補助金はない。金がなければ知恵を出そう。民間の力だ。地元の本気だ。

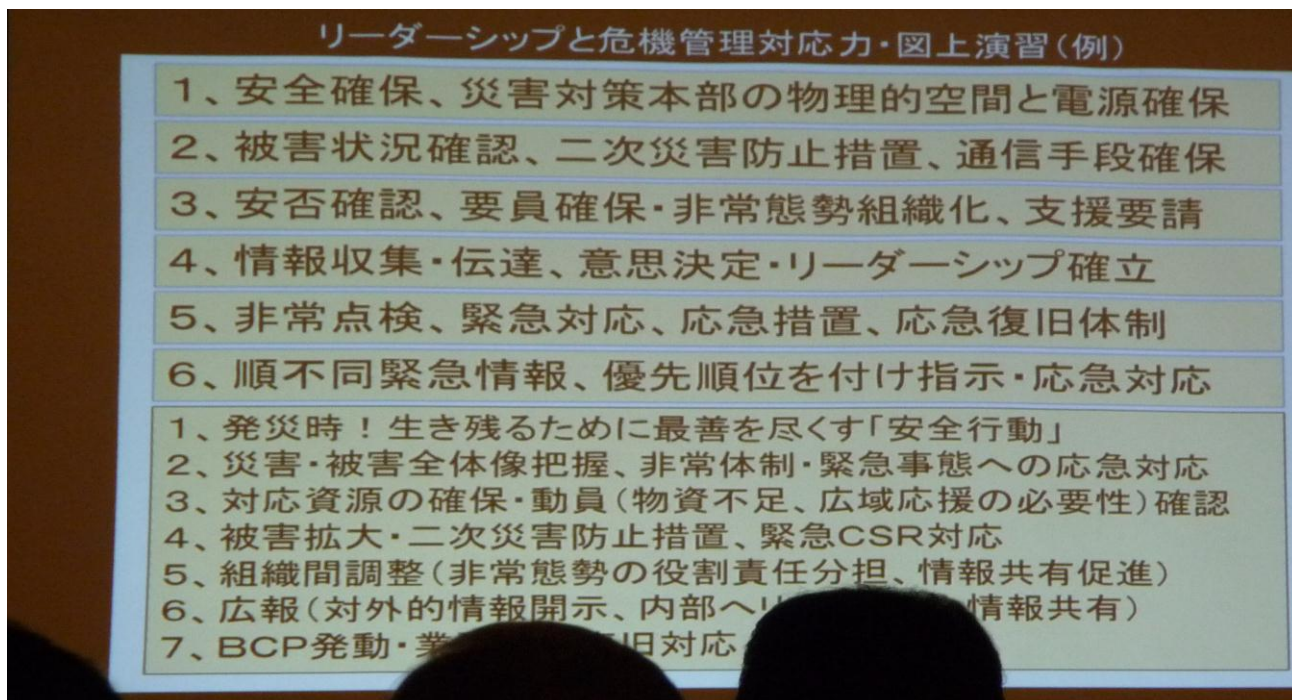
県は精一杯旗を振る。企業・地域社会、神奈川県民すべてが危機感を抱き本気になれるかが地域再生の成否のカギだ！と力強くお話になりました。

基調講演は、「東日本大震災から1年を経て」と題し、テレビなどでもお馴染みの防災システム研究所山村武彦所長が行いました。

流石に全国を飛び回り講演を数多く経験されているだけに「ぼうさい、ぼうさいって飛び回っているけれどあんたのは忘妻でしょ。」と奥様に揶揄されている話から、「東北のみなさん。頑張ってください。」とある政治家が声高に言ったところ、「馬鹿野郎！頑張るのはお前たち政治家だ！俺たちはとっくに頑張っているんだ！」と叱られてしまった。もっともな話です。



「頑張れ」というだけでは「勝手に頑張れ」に聞こえる。  
やはり共に「頑張ろう！東北」なのです。と、初っ端から参加者を惹きつけます。



数多くの有意義なお話が繰り広げられ、そのすべてをご紹介することはできませんが、大事なことは、災害を想定し普段から準備をしておくことで危機管理対応能力を高めること。しかしマニュアルばかりに囚われず実際には臨機応変に応用力を活かし取り返しのつかない命を守ること。

立ち位置を変えて、助けられる人から助ける人になること。

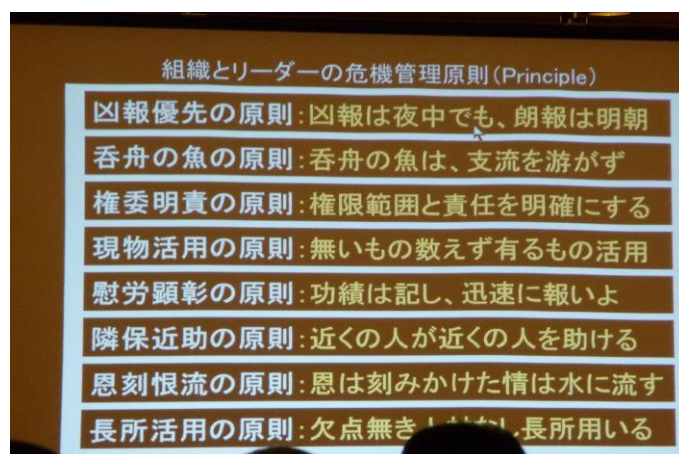
困難な環境を乗り越え生き延びる環境適応能力を養うことが重要だという非常に為になるお話でございました。

当組合からの参加理事からも聞いてよかったという言葉があり、お誘いした事務局も安堵いたしました。

やはり、生でこういう講演を聞いてみることは大事です。

たとえ僅かでも琴線に触れるなにかがあれば大成功ですね。自分の財産が増えた気持ちになれます。

続いて、リレートーク「震災復興支援危機管理事例」と称し、神奈川県内4組合からBCPに関する対応事例を中心に発表がありました。昨今話題に上がる「事業承継計画（BCP）」ですが、企業の成長レベルによってその内容が様々で、会社の現状把握・復旧計画・客先に迷惑の掛からない方策などきりがありません。各企業で行うもの。組合で行うもの。当組合はどうすべきでしょうか。



## 5.



パシフィコ横浜で行われました技術見本市。当組合からも都筑区が主催する「メイドインつづき」に参加されている組合員の中から、盛和工業(株)さん・(株)イシイ精機さん・日本アントム(株)さん・(株)スズミさんなどが参加されておりました。

事務局も最終日にお邪魔しブースにいらした各社の担当様にご挨拶させて頂きました。(スズミさんには絶えず来場者にご説明中でしたのでご遠慮いたしました。) 突然の訪問にもかかわらず各担当様に明るくご挨拶いただき、さすがこういうブースで説明にあたる担当の方だと感心致しました。またイシイ精機の社長様にはお忙しい中、数分間話し込んでしまい申し訳ありませんでした。

しかし最近の事務局の行動を見られ、組合活動を活発にするためならば協力する旨のお話を堺社長から頂きまして本当に感激いたしました。こういうお言葉を頂くと、新米事務局長として活動を始めて僅かずつであります、組合に加入してよかったと思えるような方向に持っていけるように微力を尽くしております私の大きな原動力になります。

ありがとうございました。

事務局からできるだけ多くの情報をこれからも発信していきますので、どうか組合員の皆様の積極的なご参加を期待しております

皆様からも、こんなセミナー・講演や研修会はないのか？  
もしくは実施して欲しい企画があるので組合で何とかならないか？など各種ご相談がありましたらどうぞお気軽に事務局にお話し下さい。  
現在は希望者が十名を超えている囲碁教室の企画中です。社労士や税理士等による会社経営に関する研修会やりませんか？

事務局では2月より試験的運用として、事務局長である私の名前「峯仁思」でFacebookを、「新横浜テクノゾーン協同組合」でFacebookページを開設。またツイッターでも連動し情報発信をしております。「新米事務局長みね」又は「sinyokotekuno」を探してみてください。事務局の活動予定等をつぶやいております。

従業員の方でFacebookやツイッターをやっている方いらしたら事務局とお友達になっていただけませんか？

またこれからやってみようかなという方には開設の方法ややり方などお教えいたします。(若いの方が詳しいでしょうけど)挨拶だけでも交わしませんか？



「協同組合がよりよい社会を築きます」

"Go-operative enterpriss build a better world"

このロゴは、「7名の人」が協力して「立方体」を支えているようすを描いています。「7名の人」は「協同組合運動」の7原則(自発的で開かれた組合員制、組合員による民主的運営、組合員の経済的参加、自治と自立、教育・訓練・広報、協同組合間の協同、コミュニティへの関与)を、「立方体」は協同組合による事業の成果や志を表現しています。

